

2024年度 日本肝臓学会主催 第1回肝疾患診療連携拠点病院研修会 開催報告

開催日時 2024年11月2日(土) 14:00~16:00

司会 広島大学病院 消化器内科 柘植 雅貴 医師

第1部「広報紙メールマガジンの編集・発行～患者の声を届ける～」

講師：高野 和彦（全国B型肝炎訴訟広島原告団 共同代表）

「看護師であり、肝炎医療コーディネーターである私の活動事例」

講師：長谷川 智子（北海道大学病院 肝疾患相談センター 慢性疾患看護専門看護師）

第2部「肝炎医療コーディネーターが推進する日本の肝炎対策（DVD上映）」

講師：考藤 達哉（国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター長）

参加回線：53回線 アンケート回答者数：40名

第1部「広報紙メールマガジンの編集・発行～患者の声を届ける～」

講師：高野 和彦（全国B型肝炎訴訟広島原告団 共同代表）

2024年度 第1回 広島県肝疾患診療連携拠点病院研修会
2024年11月2日(土)
広報紙メールマガジンの編集・発行
～患者の声を届ける～
高野和彦 (全国B型肝炎訴訟広島原告団共同代表)

ウイルス感染に関するアンケート
③知った時の年代、その時の気持ち

Q それはいつ頃のことですか (n=20)	Q その時のお気持ちを教えてください (複数回答) (n=20)
40代未満	不安 75.0%
40代	悲しい 46.4%
50代	驚き 22.27%
60代	驚き 30.53%
70代	驚き 15.0%
80代	驚き 5.0%
90代	驚き 5.0%
その他	驚き 5.0%
不明	驚き 5.0%

広報紙メールマガジンの編集・発行
①目的、モットー、工夫点

目的	編集のモットー	工夫点
患者（患者）に感染や治療などのお役立ち情報を提供する。	内容をくわしく読みやすい。 やさしい文章でわかりやすく。 イラストや図を入れて楽しく。	記事に詳しくらうために記事取材する。 記事に詳しくらうために記事取材する。

患者でありひろしま肝疾患コーディネーターでもある高野先生より、患者体験の他、広報紙メールマガジン編集発行の活動を通して得られたものなどお話を頂きました。また、マガジンの中でB型肝炎ウイルス感染に関するアンケート調査も実施されており、肝炎ウイルス感染を告知された時の想いや、受診受療行動の割合など大変貴重な結果をご報告いただきました。医療従事者が各立場でどのような役割を担っているのかを考えるきっかけとなるご講演でした。

第1部「看護師であり、肝炎医療コーディネーターである私の活動事例」

講師：長谷川 智子（北海道大学病院 肝疾患相談センター 慢性疾患看護専門看護師）

今日の内容

- 北海道と当院における肝炎医療コーディネーター
- 当院内における肝炎患者さんへの多職種支援
①肝炎陽性者拾い上げの取り組み
②多職種カンファレンスの実際と効果
- 肝炎医療コーディネーター活動
・北海道の肝炎医療コーディネーター
・消化器内科、その他の科では？

北海道大学病院の紹介

- 病床939床、診療科数29科
- 肝疾患連携拠点病院（道内3施設）
- 1日外来患者数 3000人（平均）
- 看護師総数997名（非常勤、休職者除く）
- 肝炎医療コーディネーター45名

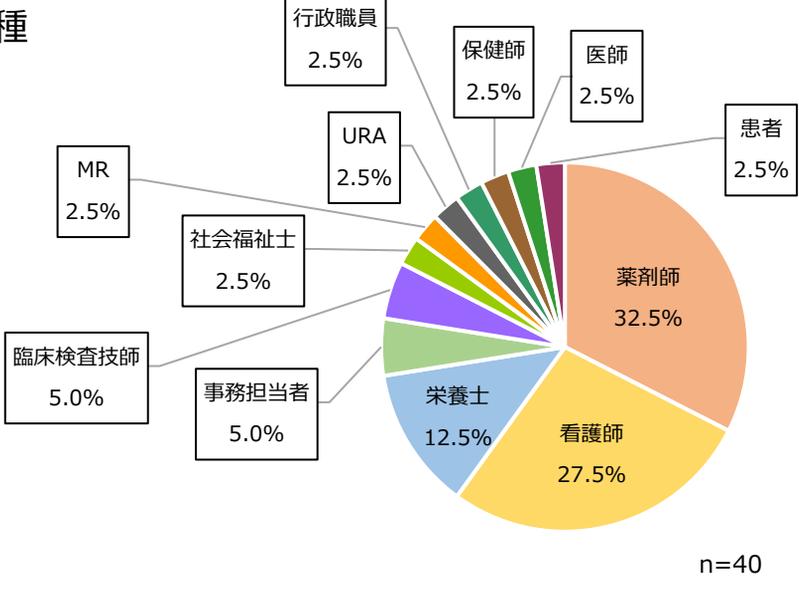
消化器内科以外から出来る！院内における肝疾患患者さんの支援

- 患者さんへの関心
- ウイルス性肝炎検査結果はどうだろうか（眼科、整形外科）
- 一受診動員や定期受診再開の声かけ
- 一消化器内科への橋渡し
- 抗ウイルス薬の処方継続や確認（退院時処方、内服確認）
- 薬剤師や医療事務の力
- 消化器内科以外での抗がん剤投与（泌尿器科、耳鼻科、婦人科）
- 消化器内科以外でのプレドニヤや免疫抑制剤投与（皮膚科、脳神経内科）
- 肝炎患者支援制度は多岐に渡るためMSWの力（収入と治療費のバランス）

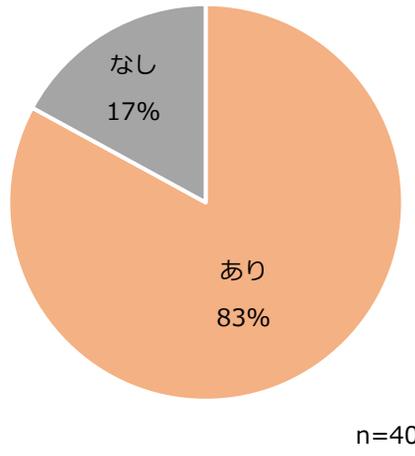
他職種とのコミュニケーション

看護師の長谷川先生より、肝炎医療コーディネーターとして院内における活動事例をお話頂きました。院内のコーディネーターと協働した活動や多職種カンファレンスの効果を知り、消化器内科以外の部署における肝炎医療コーディネーターの役割及び活動の意義について考える機会になりました。今回、参加者の8割は肝炎医療コーディネーターの資格を有しており、「活動の参考になった」「どう活動していくべきか考えるきっかけとなった」とのご意見が寄せられました。

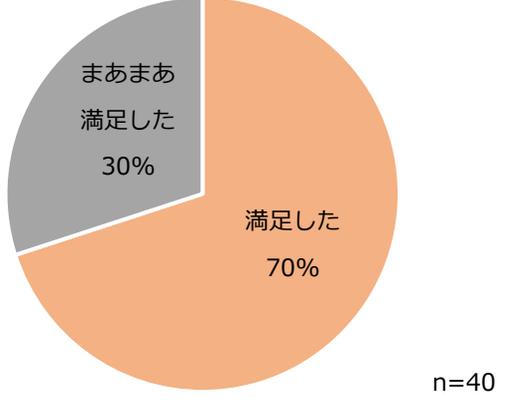
職種



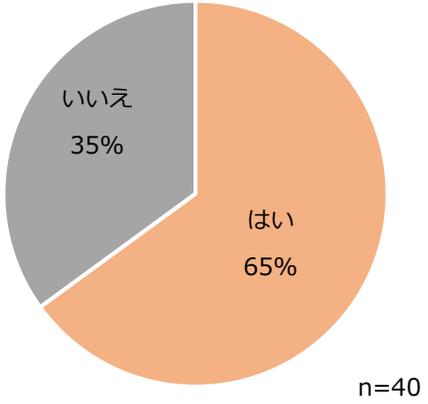
コーディネーター資格の有無



満足度

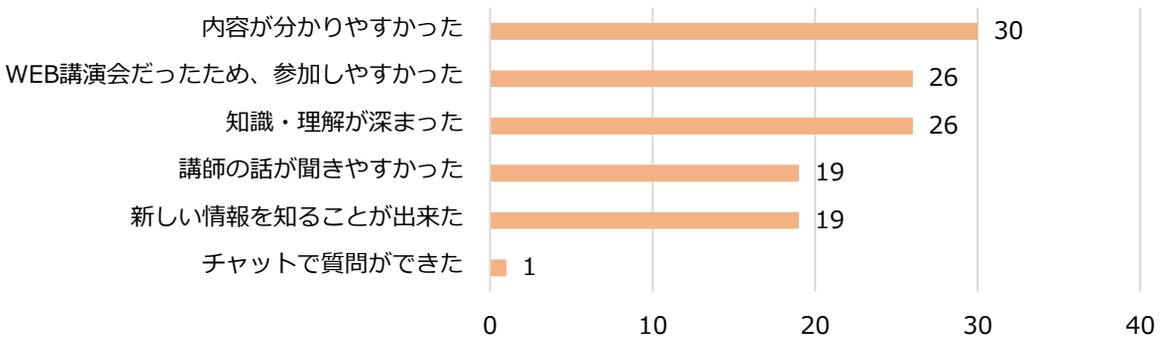


医療従事者研修会受講歴



満足度の理由

n=121(複数回答)



今回、ご参加頂いた方の7割が「薬剤師」「看護師」「栄養士」でしたが、その他にも多くの職種の方にご参加頂くことが出来ました。全ての講演内容が、職種を問わずコーディネーター活動に活かせる内容であったことから、皆様からご満足いただけました。そして、医療従事者研修会への参加が初めての方が3割程度おられました。全ての方から次回も参加したいとのご意見を頂きました。

研修会に関するご要望の中に「メディカルソーシャルワーカーからの話が聞きたい」「医師以外の医療従事者の活動報告が聞きたい」「医療機関勤務の看護師肝Coに出来る地域住民や施設に向けた啓発活動について考えたい」というようなご意見をお寄せいただきました。今後の研修会運営の参考にさせていただきます。

ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。